

岩手県高齢者総合支援センターだより

令和5年12月15日 vol.95

公益財団法人いきいき岩手支援財団

TEL019-625-7490 FAX019-625-7494

こんにちは、岩手県高齢者総合支援センター(いきいき岩手支援財団)です。真冬の寒さが続いております今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか？年の瀬が迫り、今年も残りわずかとなってまいりました。本年もご厚情を賜り、心より感謝申し上げます。12月は何かと慌ただしい日々が続くかと思いますが、雪などで路面状況も悪くなっていますから、くれぐれもご移動の際はお足元お気を付けください。

それではセンターだより Vol.95 をお届けします。



岩手県高齢者権利擁護セミナー開催

11月30日(木)岩手教育会館多目的ホールにて、「令和5年度岩手県高齢者権利擁護セミナー」を開催しました。

初めは劇団「友蔵と仲間たち」の皆様から、演劇で知る権利擁護「友蔵人生の集大成～おらの想いを受け止めて 2023～」をお届けしました。続いて「わが町バンザイ、いきいきバンザイ！」としてIBC岩手放送アナウンサー菊池幸見氏から基調講演をいただき、おかげさまで無事盛況裡に終えることができました。



劇団「友蔵と仲間たち」



菊池理事長

皆様の御来場ありがとうございました

地域の取り組みに参加してきました！

リエイブルメントプログラムは、生活機能が低下した高齢者に対してリハビリテーション専門職が3か月間、週1回の「面談」によるセルフマネジメントの動機づけ支援を通じて高齢者が自分らしく暮らしていた頃の「元の生活」に戻すプログラムで、実施後は利用者の自己肯定感が向上し、意欲の向上や活動量が増加するなど良好な変化が表れています。先駆的にこのプログラムに取り組んでいる大阪府寝屋川市や山口県防府市では、要介護認定率の低下や介護サービス費の低減などに繋がっており、盛岡市でもこのプログラムの導入に向けて、令和5年9月からモデル事業を実施しています。

講師からは、介護サービス等の支援が必要となる前の段階で高齢者を元の生活に戻すよう支援していくことは「究極の権利擁護」であるという話があり、要支援者は「サービスを使い続ける」というパラダイムを「元の生活に戻れる」という考えにシフトしていくことの必要性が示唆されたとても有意義な勉強会でした。

◆盛岡市通所型短期集中予防サービス
(リエイブルメントプログラム)勉強会
10月20日(金)プラザおでって



地域包括ケア研修を開催しました！

常設型居場所トコトコからまい広場

受講者 合計 45 名

◆生活支援コーディネーター現地研修会 9.26 (火)・9.29 (金)

軽米町では“住民が気軽に集まれるところがあるといいね”との思いから議論を重ね、令和3年11月に「常設型居場所トコトコからまい広場」を開所しました。開所にあたっては住民有志による改修工事や地元高校生による清掃活動など地域からの多くの協力がありました。現在は、毎週水・土曜日の開所日に約20名の住民ボランティアの方々が数名ずつ当番となって誰でも自由に訪れることができる居場所の運営に当たるほか、月に何度か百歳体操やバザー、小物づくり会、なんでも相談会などが開催されています。経費は町からの補助のほかバザー売上や寄付金等で賄うことができています。これからも地域の小さな助け合いの場、一人暮らしの方の居場所として継続しながら、生活支援サービスや地域食堂にも取り組みたいとのことでした。ここは通りに面してバザー品や手芸品、駄菓子などが並ぶ“昭和のお店”感が増し、奥の座敷などはまるで実家に帰ってきたような雰囲気がありましたので、皆様も機会があれば訪れてみてはいかがでしょうか。



◆認知症地域支援推進員活動促進研修会 11.9 (木)

マリオス

受講者 45 名

研修会では、2023年6月に公布された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の趣旨について、認知症介護研究・研修東京センター永田久美子副センター長から講義をいただきました。今後は、**本人発信支援**(本人が声を出せる、意思決定ができる)、**認知症バリアフリー**(本人から見たバリアをなくす)、**本人の社会参加支援**(本人が望む続けたいこと、やりたいことをかなえる)に注力すべきとのお話が印象的でした。また、認知症本人大使の春原治子さんからは、考える力はあるし大切な人を思う気持ちも変わらないので認知症を怖がる必要はないと皆さんに伝えていること、家族は忙しいので先回りして本人ができることもやってくれてしまいがちだが優しく声をかけてもらって自分のペースでできると自信が持てることなど多くのメッセージをいただくことができました。また、受講者から「どうして(認知症であることを)オープンにすることができたのか」との質問に対して「周りの方々が勉強されていたからです」とお答えいただくなど、誰もが暮らしやすい地域づくりのためには正しい知識の普及啓発が何より大切であることを再確認することができた研修会となりました。



◆生活支援体制整備テーマ別（移動支援）研修会 11.21 (火)

アイーナ

受講者 40 名

住民主体の移動支援について全国のさまざまな先進事例を中心に、NPO 法人全国移動サービスネットワーク伊藤みどり事務局長から講義をいただきました。また県内事例の紹介では、盛岡宮古間を走る106 急行バスの運行ルート見直しを契機として地区内でのボランティア送迎チーム立ち上げについて議論を深め、令和4年度から運行を開始している宮古市門馬地区の移動支援の取組について、宮古市役所、宮古市社協、送迎チームリーダーの皆様からそれぞれの立場でどのような関わりをもって取組に繋ぐことができたのかについてお話をいただきました。その後活発な情報交換がなされ、特に宮古市高齢者担当課と公共交通担当課の庁内連携がしっかりととれていたこと、SC の粘り強い活動、地域の生活支援に対する意識の高さなどについて大変参考となったとの意見が寄せられるなど、今後も移動支援をテーマとする研修会での情報提供の必要性を感じました。





アドバイザー・専門職を派遣しました！

◆アドバイザー派遣

10月6日矢巾町地域包括支援センターにケアタウン総合研究所高室成幸代表を派遣して、自立支援型サポート会議におけるケース検討での専門職の着目点等について助言をいただきました。今後は、花巻市と紫波町に認知症ケア向上のための、岩手町に生活支援体制整備のためのアドバイザーをそれぞれ派遣する予定です。

◆専門職派遣

弁護士や社会福祉士などの専門職を地域ケア個別会議に派遣しています。10月に2カ所、11月に1カ所派遣して個別ケースについて専門的な助言をいただきました。財団では随時派遣しますので、希望される場合はお問い合わせください。

研修のご報告

～今回は研修が盛り沢山でした！多忙な業務の合間にご参加いただきありがとうございました。中でも今年度初開催の研修をピックアップしてご紹介します～

NEW 9/29 中堅職員研修

岩手県高校教育会館にて開催。参加者は42名。

初め、高室成幸氏による「自立支援型ケアマネジメントと自立支援サポート会議の進め方」として動画を視聴。続いて戸病院認知症疾患医療センター センター長小井田潤一氏、同精神保健福祉士 亀山歩美氏による講義を行いました。最後に戸町地域包括支援センター副主任兼主任保健師 地切るり子氏から戸町の認知症事業の取り組みについて実践事例をご紹介いただきました。

NEW 10/20 主任介護支援専門員向け研修



アートホテル盛岡で開催。参加者は43名。初めに岩手県立大学社会福祉学部客員教授齋藤昭彦氏から講義を頂戴した後、奥州市役所福祉部福祉課 上席主任小野大祐氏から実践事例を紹介。午後には盛岡市社会福祉協議会地域福祉課長熊谷良治氏からも実践事例をご紹介いただき、最後に「介護支援専門員への後方支援を通じた連携のありかた」として情報交換会を行いました。



他に開催された研修一覧です！↓

皆様のおかげで、無事に研修を開催することができました！また別の研修でお会いできることを心より楽しみにしております♪

日付	研修名	開催場所	参加者
9月19日(火)	認知症ケア向上支援連絡会	アイーナ	43名
9月26日(火) 9月29日(金)	生活支援コーディネーター現地研修	軽米町防災センター	計45名
10月12日(木)	権利擁護地域研修(県南)	奥州市役所 江刺総合支所多目的ホール	58名
11月14日(火)	介護予防情報交換会	岩手県高校教育会館	18名
11月18日(土)	介護予防事業に参画する リハビリテーション専門職育成研修	オンライン	22名
11月21日(火)	生活支援体制整備テーマ別研修	アイーナ	40名
11月22日(水)	権利擁護推進員養成研修(第1回)	アイーナ	31名
11月28日(火)	福祉用具・住宅改修研修会	岩手県高校教育会館・オンライン	計80名

今後のセンター事業の予定



花巻市高松第三行政区ふるさと地域協議会熊谷哲岡事務局長から、
2020年から協議会が実施している中山間地域等直接支払制度集落機能強化加算を活用した住民主体による外出支援、配食サービス等の生活支援の取組について、花巻市から住民が主役の生活支援の仕組みづくりの取組について、また、さわやか福祉財団の鶴山常務理事から全国事例などを紹介していただきます。

認知症地域支援 推進員連絡会

令和6年1月16日(火)
アイーナ803
定員:50名

岩手医科大学附属内丸メディカルセンター菊地得恵若年性認知症支援コーディネーターから若年性認知症への支援について、一戸町社会福祉協議会小野寺幸葉主任からチームオレンジの活動など一戸町における認知症事業の取り組みについて情報提供をしていただきます。また、今年度の推進員活動を振り返った情報交換を予定しています。

高齢者権利擁護推進員 養成研修

〔第1回〕11/22(水) **【終了】**
〔第2回〕12/22(金)
〔第3回〕1/23(火)
〔第4回〕2/22(木)

生活支援
コーディネーター
連絡会
12月15日(金)
アイーナ804B
定員:50名



相談事業のお知らせ

シルバー110番

県民の高齢者やその家族の皆様からの困りごと・悩み事・
知りたいことなど相談に応じます。
月・水・金 9:00~17:00 **※専門相談は要予約制です。**

専門相談区分	12月	1月	2月
法律	15日(金)	19日(金)	16日(金)
認知症	27日(水)	24日(水)	28日(水)

権利擁護相談

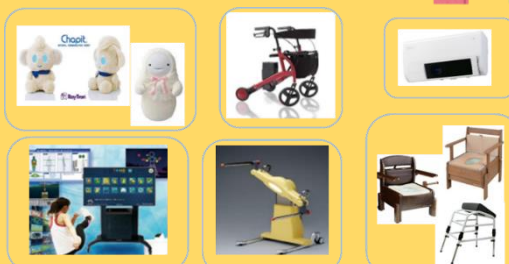
虐待について、適切な支援の方策を助言してほしい、業務に就いたばかりなので、制度など専門家に教えてもらいたい、対応が適切だったか事例検討したい...などの相談に応じます。

※お急ぎの相談については定例相談を待たずに、随時相談として受け付けます。

相談担当者	月	日	時間
弁護士 ・ 社会福祉士	12月	20日(水)	14:00
	1月	17日(水)	~
	2月	21日(水)	17:00

ケアプラザいわてからのお知らせ

福祉用具展示室を開放し、介護ロボットはさまざまな種類の機器があります。
実際に見て、触れていただくことが可能です。個人でもグループや団体でも見学・体験できます。



お問い合わせ先

場所: 岩手県高齢者総合支援センター
時間: 平日 9時から17時まで
TEL: 019-625-7490

少し早いご挨拶
になりますが...
よいお年をお迎
えください

